

市立小学校の児童と教諭が公園で蜂に刺された事故について

平成30年6月29日（金）梅林小学校の2年生が、生活科で校外活動を実施している際、坪呑公園内で、児童8名と教諭1名がキイロスズメバチに刺されました。学校へ戻った後、直ちに救急搬送され、病院にて手当を受けました。いずれも軽症です。

1 当該校

横浜市立梅林小学校

校長 黒木 英晴（児童数 488名、教職員数 24名）

住所 磯子区杉田五丁目13番1号

2 被害児童及び教諭

2年生 男子4名、女子4名

教諭 1名（男性38歳）

3 事案概要

2年生の1クラス（児童31名）が生活科の校外活動で坪呑公園（磯子区杉田坪呑8）内の山道のような場所を1列で歩いていたところ、11時30分頃、児童8名及び教諭1名が蜂に刺されました（蜂の種類はキイロスズメバチ）。

11時45分頃学校に戻り、応急処置をした後、12時頃に119番通報し、被害児童及び教諭は救急車により病院に搬送されました。

搬送先の病院は、南区の病院1名（児童1名）、港南区の病院8名（児童7名、教諭1名）です。蜂に刺された部位は、手足、肩、耳、後頭部等で、一番多く刺された児童は7か所刺されました。なお、被害児童及び教諭は、全員処置を受け、帰宅しています。

4 経過

11時30分頃 事故発生

11時45分頃 学校に徒歩で到着、応急処置

12時頃 119番通報、救急搬送

12時58分 全ての被害者が南区及び港南区の病院に収容されました。

5 今後の対応

校外学習を行う場合には、より一層の児童の安全確保に努めてまいります。

お問い合わせ先		
教育委員会事務局南部学校教育事務所指導主事室	室長 関口 和弘	Tel 045-843-6399